

夏季の暑さを考慮したこれからの行動の考え方

1 熱中症予防習慣の実践について

気候変動に伴う気温上昇により、熱中症による救急搬送者数が増加傾向にあり、今後においても熱中症リスクは更に高くなることが予想されます。夏季においては熱中症リスクを常に意識し、熱中症予防行動を習慣化するなど気候変動に適応した実践が必要となります。

熱中症リスクを把握するためには、天気予報等で気温や熱中症情報など、熱中症予防につながる情報を日頃から意識して確認することが大切です。なお、熱中症警戒アラート等については、メールニュースかわさきなどで配信されます。

健康福祉局ホームページ 『熱中症の予防をしよう』

<https://www.city.kawasaki.jp/kurashi/category/22-21-0-0-0-0-0-0-0.html>

消防局ホームページ 『熱中症にご注意ください』

<https://www.city.kawasaki.jp/840/page/0000049771.html>

環境局ホームページ 『熱中症予防につながる調査研究』

<https://www.city.kawasaki.jp/300/page/0000082028.html>

2 夏季の生活における注意事項について

当研究所の調査研究によると、気温が30℃以上になると熱中症リスクが高くなること分かっています。水分補給をこまめに行うとともに、屋内においてはエアコンを適切に使用し、外出する際は、日傘や帽子を使用するなど暑さを避けてください。特に、猛暑日（最高気温35℃以上の日）や熱中症警戒アラートが出ている日は、熱中症リスクが極めて大きくなることから、室内では昼夜を問わずエアコンを使用するとともに、日中の不要不急の外出は控える、屋外や屋内の空調設備が備わっていない施設等での運動を控えるなどしてください。

このことは、市民の皆様への啓発に御協力いただくとともに、各職場を通じて職員の皆様にも周知をお願いします。

環境省「熱中症予防情報サイト」

<https://www.wbgt.env.go.jp/>

日本生気象協会

「日常生活における熱中症予防」

<https://seikishou.jp/post-217/>

「日常生活における熱中症予防指針」Ver. 4

<https://seikishou.jp/cms/wp-content/uploads/20220523-v4.pdf>

3 イベント・スポーツ大会等の開催に係る考え方について

本市及び地域で行われるイベントやスポーツ大会等における熱中症予防の考え方についてまとめました。市の各市民利用施設ではホームページ等への掲載により施設利用者への啓発に御協力いただくとともに、本市が主催するイベント等では開催にあたっての参考としてください。

- (1) 屋外や屋内の空調設備が備わっていない施設等でイベントやスポーツ大会等を企画する際は、真夏以外の時期や朝晩の涼しい時間帯に開催をずらすなどの対応を検討してください。
- (2) やむを得ず真夏時の昼間に開催する場合には、企画時から開催の中止又は延期の可能性のあることを検討してください。
 - ※ 熱中症警戒アラートが神奈川県で発表されている場合や、環境省熱中症予防情報サイトなどで示される「横浜」(川崎市最寄りの気象観測地点)の暑さ指数が31℃以上の場合、中止又は延期を検討してください。
- (3) 屋内、屋外問わずイベントを開催する場合には、来場者に対し、会場までの移動時においてもこまめな水分補給や日傘、帽子の使用など熱中症対策を実施するよう呼びかけてください。
- (4) 会場においても、適切な熱中症対策を実施するとともに、体調不良者への対応についてもあらかじめ決めておいてください。

公益財団法人日本スポーツ協会

「熱中症を防ごう」

<https://www.japan-sports.or.jp/medicine/heatstroke/tabid523.html>

「スポーツ活動中の熱中症予防ガイドブック」

<https://www.japan-sports.or.jp/medicine/heatstroke/tabid1437.html#guidebook>

健康福祉局「夏のイベント用熱中症対策」

https://www.city.kawasaki.jp/350/cmsfiles/contents/0000099/99590/nettyu_event.pdf